

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより138号
R1. 11. 28



名護消防本部

放水開始、圧が強い。

先日はお忙しい中、私達の職場体験学習のために四日間、お時間を頂き大変、ありがとうございました。四日間の体験で分かったことは、「人を助けることの難しさ」です。最終日に行った救助訓練は実際に使用する防護服や酸素ボンベを背負って、煙が充満する部屋の中で人形を救助するものでした。部屋の中は煙だらけで近くのものさえ見えず、また、熱で熱くなっていました。そんな過酷な環境の中で、救助活動をしているのだと、肌で感じることができました。



重い防護服とボンベを背負い人を運ぶ

職場体験後のお礼状

他にも学んだことは沢山あり、私たちの安全な生活には、消防士さん達の活動は欠かせないものだ改めて理解しました。僕も消防士さんのように「生活で欠かせない仕事、存在」になれるように努力していきたいです。

一組 H・Sさん

四日間の学習で特に印象に残ったのは、「命を救う活動のための訓練」です。できるだけ早く怪我人の元に向かい、適切な応急処置を行うために、日頃の訓練を欠かさず行っていることです。私達の安全を支えているのだと実感できました。学ぶところは沢山ありましたが、今後、消防士さん達のように見えないうところで努力を続け、成長できるように頑張りたいです。

一組 N・Iさん



重い防護服とボンベを背負いホースを運ぶ



たいはうのクリニック

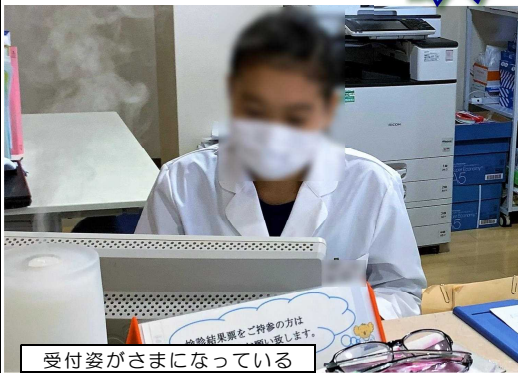
先日はお忙しい中、私達の職場体験のために四日間もお時間をいただき、ありがとうございました。

四日間の学習の中で特に学んだことは、「あいさつの大切さ」や「患者さんへの接し方」でした。受付のお仕事を体験した時、「受付は、たいはうのクリニックの顔なので、あいさつをしっかりする」と教えてくださり、気持ちの良いあいさつを心がけました。患者さんを笑顔にさせたり、リラックスさせたりするのに受付でのあいさつは大切な仕事だと知りました。

透析室でのお仕事の時は、透析中の患者さんの体調を気遣ったり、車椅子の患者さんの介助を優しく扱ったりと、患者さんの立場になり接することの大切さを学びました。

学ばせていただいたことは他にもありますが、これからも生活の中であいさつを行い、周りへの優しい気持ちを持ち続けていきたいです。そして、困っている人がいたら助けられるような人になりたいです。

三組 T・Hさん



受付姿がさまになっている

私は、こちらで四日間学ぶことで、医療の視野を広げることができました。最初は人工透析という言葉さえ知りませんでした。職員の方々に丁寧に教えていただいたので、今ではクラスメイトに説明できるほど、知識を身につけることができました。

今回の体験を通して、職員の皆様や患者さんの優しさに触れることができました。皆様からもらった優しさを誰かに分け与えることができる人間になりたいです。そして、今後の私の人生への視野を広げる機会にもなりました。一つの職業だけを考えるのではなく、医療関係で多くの職を知り、自分の人生を捧げたいと思える職に就きたいと思っています。四日間、お世話になりました。

一組 T・Mさん